



アメリカ合衆国大使

U.S. Ambassador to Japan

J.V.ルース氏 講演

John V. Roos

◆ 演題 「日米の絆～日本の若い人たちに期待すること」

とき 7月2日(火)15:00～16:00

ところ 関西学院会館 (西宮市上ヶ原)

*入場は本学の学生・教職員に限ります。

*入場にあたっては、学生証・教職員証の提示が必要です。

*この講演は英語で行われます(通訳はありません)。

◆ 講師プロフィール ◆

ジョン・ルース大使は、日本の2度の政権交代の中で駐日大使を務め、歴史的転換期に日米関係の維持に重要な役割を担ってきた。2010年8月6日、広島平和記念式典に、2012年8月9日には長崎平和祈念式典に参加した初の駐日米国大使となった。

2011年3月の前例のない大災害に、日本の支援に向けて指導力を発揮し、同年10月、米国国務省から模範的外交官に与えられる「スー・M・コブ賞」を受賞した。47都道府県を訪れ、幅広い分野の人々と対話を重ね、日米両国が直面する安全保障、経済、世界規模の課題への取り組みのほか、イノベーションと起業家精神、環太平洋パートナーシップ協定(TPP)を含む通商問題など、両国の協力分野を特に重視してきた。経済界への協力が評価され、大使は在日米国商工会議所の「2012年パーソン・オブ・ザ・イヤー」を受賞した。

大使はまた、東日本大震災後の米国の救援活動を受けてTOMODACHIイニシアチブが創設される際にも指導力を発揮した。このイニシアチブは、日本の次世代のリーダーに投資し、彼らを米国と結び付けることを目的とした、ワシントンDCを拠点とする米日カウンシルとの官民パートナーシップであり、すでに多額の寄付金が集まっている。TOMODACHIイニシアチブでの功績が認められ、大使は2012年12月、広報分野での優れた業績に対して与えられる国務省の特別金賞(Special Gold Standard Award for Public Affairs Excellence)を受賞した。

オバマ大統領から駐日米国大使に指名される前は、技術系・生命科学系企業や新たな成長企業を顧客とする米国の大手法律事務所の最高経営責任者を務め、シリコンバレーにさまざまなイノベーションの波が押し寄せる中、同事務所を率いる一翼を担った。サンフランシスコで育ち、スタンフォード大学を優等で卒業。

